

平成30年度

# 事業報告

## 【重点項目】

- 1 地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。
- 2 誇りを持てる職場にする。
- 3 経営基盤の安定化を図る。

社会福祉法人おおぎだ

## 目 次

### 平成 30 年度社会福祉法人おおぎだ事業報告

事務局.....p1

#### 各事業所別事業報告

特別養護老人ホームローズヒル(従来型・ユニット型) ..... p5

別紙 1

短期入所生活介護(ショートステイサービス) ..... p7

茂呂デイサービスセンター ..... P8

美茂呂デイサービスセンター ..... p9

ケアハウス菜の花 ..... p10

茂呂ヘルプサービスセンター ..... p11

茂呂居宅介護支援事業所 ..... p12

厨房部門 ..... p13

## 事務局

### 事務局概要報告

地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。

平成30年度は、ミニデイサービスに茂呂町2丁目が加わり、5ヶ所で行われるようになりました。また、鯉のぼりの掲揚、伊勢崎市オープンガーデン参加、介護予防フェスタ「よしみち講座」を行いました。チャレンジウィークでは10名の中学生が介護の仕事を体験し、地域での社会福祉法人おおぎだの認知度向上に繋がっています。

誇りを持てる職場にする。

「生きがいサポートプロジェクト」の研究を通じて、利用者の尊厳の大切さや個別ケアの重要性に気づき、“最期まで看取る”というビジョンの策定に繋がりました。これからも、ミッションとビジョンを職員全員が認識し情報発信をしていきます。また、企業認証制度では、「いきいきGカンパニー」を取得し、女性職員の活躍も推進しています。

経営基盤の安定化を図る。

特別養護老人ホーム増床が確定し、令和2年には多床室20床の稼働が予定されています。増床を見据えローズヒルの組織変更を行い、ユニットリーダーの職務と権限を明確化させ、キャリアの構築を行える体制を整えています。また、法人全体で管理者の育成ができるよう、事業所間での異動も行っています。今後も、人材の確保と職員の教育を行っていきます。固定資産の更新ではユニット2Fの空調設備の入れ替え工事、ナースコール設備の入れ替え工事を行いました。

### 1 理事会・評議員会

- (1) 理事会開催 定例理事会（5月、10月、3月） 臨時理事会（9月）
- (2) 評議員会開催 評議員への報告会（4月） 定時評議員会（6月）

### 2 施設運営管理

#### (1) 建物

特養ユニット型2階空調設備入れ替え、サーバー及び福祉の森入れ替え、ナースコール設備及び電話設備入れ替え

#### (2) 運営会議6回開催

理事会報告、次年度事業報告、予算作成

#### (3) 法令管理体制委員会開催2回開催

### 3 予算・事業計画管理

#### (1) 月次報告

#### (2) 管理者会議25回開催

職員処遇、求人関係、規程の改正、役員会・評議員会開催準備、制度の対応、予算関係、研修関係

4 人事・組織管理・人材育成

(1) 平成 31 年 4 月 1 日現在の職員数

総数 121 人

	特養（短期含む）		ケアハウス		訪問介護		茂呂デイサービス		美茂呂デイサービス		居宅介護支援事業	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長 (管理者)	1 1(統括)		(1)		(1)		1(統括)				1	
副施設長		1										
医師		(1)										
生活相談員	1	(1)	1				1		1			
サービス提供責任者					1	1						
介護職員	51	18	1				2	4	2	3		
看護職員	6	1					2		1	1		
訪問介護員						5						
介護支援専門員	2										2	
機能訓練指導員	(1)											
管理栄養士	1											
事務員	3	3										
合計	66	23	2		1	6	7	4	5	4	3	

注: ( )は兼務職員を再掲していることを示す。

(2) 入・退職状況

( )は昨年度実績

	職員	専門職準職	一般準職員	嘱託	合計
入職者	7(12)	1(0)	14(3)	0	22(15)人
退職者	8(11)	0(0)	5(2)	0	13(13)人

(3) 評価、処遇調査、個人面談実施 11月より開始

(4) 学生アルバイト7人（東京福祉大学4人、太田医療技術専門学校2人、たかさき  
ナイチンゲール学院1人）

5 自己研修 各事業所の報告による。

6 防災対策

(1) 防災委員会2回開催、研修会1回開催

(2) 消防訓練 9月昼想定、3月夜想定実施

(3) 建築物、建物の点検(自主点検)実施 9月、3月

## 7 施設・設備維持管理

- (1) 業務委託見直し 電気管理技術者の変更
- (2) 空調・ボイラー設備点検 5月、12月
- (3) 全館定期清掃 7月、8月
- (4) 受水槽・水質検査点検 7月
- (5) 厨房害虫調査 毎月実施

## 8 安全衛生

- (1) 感染対策・事故防止委員会開催 各事業所報告による。
- (2) 安全衛生委員会 2回開催、職場巡視 12回実施
- (3) 浴槽ろ過装置点検実施 7月
- (4) 浴槽水質検査実施 5月
- (5) 職員健康診断実施 4月(夜勤者)、10月全職員
- (6) インフルエンザ予防接種実施 12月
- (7) ストレスチェック実施 9月
- (8) 腰痛予防アンケート実施 10月、3月

## 9 サービスの向上

- (1) 連携会議 12回開催  
利用空き情報、事業所間の情報交換と業務改善提案、地域や家族の情報交換、月次報告
- (2) 生きがいサポートプロジェクト実施  
現場チーム 6回開催 (9月発表)  
ローズヒル管理者 11回開催 (ビジョンの策定、組織、人材育成継続中)
- (3) 苦情改善委員会

会議開催	2回 (9月、3月)
苦情受付 3件	<ul style="list-style-type: none"><li>・ショート利用時に利用者や家族に対してタメ口で対応、態度も悪い職員がいる。</li><li>・デイサービスで車に乗って頂く時の言動、態度、送迎介助方法の態度が悪い。</li><li>・ショート利用時面会に行った時に職員さんから「奥様がかえられた後、落ち着かなくなるので、午前10時頃来て下さい」と言われた。</li></ul>
皆様の声 0件	なし

## 10 地域福祉関係

### (1) 入所家族に関する事項

ローズヒル・短期入所者への面会状況

年 度	入所者の定員	年間	月平均
平成 28 年度	130 人	4,771 人	397 人
平成 29 年度	130 人	5,168 人	430 人
平成 30 年度	130 人	5,441 人	453 人

### (2) ボランティア状況

・意見交換会と感謝会実施 3月 感謝状授与状況

年 度	個 人	団 体
平成 28 年度	15 人	5 組
平成 29 年度	15 人	5 組
平成 30 年度	10 人	5 組

・慰問等は各部署の報告による。

### (3) 広報委員会 10 回開催

おおぎだだより 21 号、22 号発行  
名刺のリニューアル(希望職員含む)

### (4) 地域への広報活動

- ・ミニデイ参加と応援、チャレンジウィーク、実習生、介護体験等の受入、伊勢崎市主催「オープンガーデン」参加、「知ってもらおう介護の仕事」は各部署報告による。
- ・鯉のぼり掲揚期間 4月 21 日～5月 20 日  
利用者家族、地域の方、職員家族、茂呂こども園 27 名、伊勢崎特別支援学校 6 名の見学がありました。

## 11 福利厚生

### (1) 親睦会 補助支給 1 人 6,000 円× 101 人分

会議 6 回開催、総会・食事会、日帰り旅行(箱根方面)実施 35 名参加  
クリスマスケーキ配布、慶弔関係支払

### (2) 10 年表彰・アイデア表彰・職員紹介

	10 年表彰者	アイデア提案表彰者	職員紹介者
28 年度	8 人(特養 8)	5 人(特養 4、デイ 1)	1 人(デイ 1)
29 年度	4 人(特養 2、デイ 1、居宅 1)	4 人(特養 4)	1 人(特養 1)
30 年度	6 人(特養 5、デイ 1)	4 人(特養 4)	2 人(デイ 2)

注:( )は所属部署

## 特別養護老人ホームローズヒル（従来型・ユニット型）

「今」を大切に当たり前の暮らしの実現の基本方針のもと、施設内外で、多くの行事が行なわれました。（施設内外行事 別紙1参照）

地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。

・1丁目から10丁目まで各ユニットごとの目標やテーマを掲げ、それをもとに飾り付けや、行事などを行うことができました。お楽しみ会やシャンプーバイキング、買い物ツアー、花火大会など、ユニットごとの行事が年間で41行事行われました。2月のユニット発表では、各ユニットごとに行事や取り組みについて発表を行い、各ユニットリーダーや上位者が年間を通しての評価を行い、平成30年度は、金賞6丁目、銀賞5丁目、銅賞9丁目という結果でした。

・伊勢崎市立第一中学校の生徒へ「知ってもらおう介護の仕事」で福祉の仕事のアピールや高齢者の疑似体験や、介助者を体験してもらいました。その後、チャレンジウィークで7名受け入れ、実際の福祉の仕事を経験していただくことができました。その中から、興味を持ってくれた2名の生徒さんが秋祭りにボランティアに来てくれました。これから社会人になる若い人たちが、福祉の仕事に携わってくれるいい機会でした。

毎年9月、3月に行われる防災訓練では、地域外部の方15名に、参加いただき、防災時の協力体制を確認する事ができました。

・毎年恒例のいちご狩りや、毎月の誕生日会では、多くのご家族に参加の機会を作ることができました。敬老会では去年に続き、職員劇団による寸劇「鶴の恩返し」を披露され大変好評でした。従来型秋祭りでは、日頃から練習を重ねた「北国の春」「村まつり」その他新人職員のダンス、ISP楽団の演奏など、新たな企画が行われ、86名のご家族が参加し盛大に行われました。ユニット型秋祭りでは、中庭を会場に大迫力の上州あずま太鼓、職員のひげダンスなどの余興もあり、こちらも、盛大に行われました。

誇りを持てる職場にする。

・職員研修・人材育成

【合同研修会開催実績】

4月 30年度のおおぎだ変更点周知	6月 食中毒、感染予防
7月 事故防止・身体拘束	8月 介護ロボットHAL体験
9月 ISP発表会	
10月 「仕事のチームワークを高めるコミュニケーション術」高坂先生	
12月 インフルエンザ・ノロウイルス	2月 ユニット発表会

### 【施設外研修】

- ・県集団指導 5/23
- ・新任職員研修 1名全3回
- ・チームで取り組む褥瘡・安全対策 6/28
- ・インカム使用の施設見学 7/31 3名
- ・ケアマネ研修会8/24 2名
- ・施設見学 清和荘 シフト作成 11/6 4名
- ・保健福祉関係職員研修会 11/30
- ・シニア人材活用セミナー2/6 2名
- ・緊急時の介護 2/20
- ・すべての看護師のための看取りケア研修会 3/2・3 2名

・施設内研修参加者延べ 698名 平均1研修につき 35.5名参加

・施設外研修参加者延べ 21回

### 【資格取得】

- ・介護福祉士国家資格 1名取得
- ・実習生受け入れ実績
  - ・介護労働安定センター 3名
  - ・介護等体験 2名

実習生の中から、1名入職

- ・有給休暇取得実績

264.5日/72人（有給取得日/職員数） 平均3.6日（29年度 平均2.8日）

経営基盤の安定化を図る。

- ・ベッド稼働率（短期と合わせ） 従来型 91.3% ユニット型 93.8%
- ・夜勤職員配置加算の取得 従来 13単位・ユニット 27単位/日  
短期と合わせて800万円程度の増収
- ・平均介護度 従来型 3.95 ユニット型 3.98（参考H30年3月 従3.89ユ3.88）



## 行事实績

## 【 従 来 1～4丁目・10丁目 】

4月	・合唱会コンクール ・いちご狩り (いちご畑ベリーベリー)
5月	・せせらぎ公園 鯉のぼり見学
6月	・買い物ツアー (西友楽市、イトーヨーカ堂) ・10丁目焼きまんじゅう ・3.4丁目カレーライス作り
8月	・10丁目シャンプーバイキング ・3丁目お楽しみ会 ・出前 (釜めし)
9月	・敬老会 ・秋祭り
10月	・4丁目あの頃を思い出そう (おにぎり作り) ・小菊見学
11月	・外食ツアー (ココス、日進食堂)
12月	・2丁目 チヂミ作り ・1丁目クリスマス会 ・クリスマスデコレーションケーキ
1月	・新年会 ・10丁目新年会 ・3丁目おしるこ作り
2月	・2丁目 節分&お楽しみ会 ・4丁目パンケーキ作り ・1丁目らくがきせんべい作り ・10丁目おしるこ作り
3月	・出前 (釜めし) ・4丁目さくらもち作り

その他 毎月の誕生日会 月2回の音楽療法

## 【ユニット5～7丁目・8.9丁目】

4月	・お花見 (長安寺) ・6丁目買い物ツアー (西友楽市) ・8.9丁目お花見ドライブ (市民の森)
5月	・高橋様 100歳お祝い ・お茶会 ・ユニット運動会
6月	・赤堀菖蒲園見学 ・6丁目たこ焼き作り ・5丁目梅干し、梅ジュース作り ・8.9丁目外食ツアー (かつぱ寿司)
7月	・6丁目買い物ツアー ・出前 (釜めし) ・5丁目買い物ツアー (スマーク) ・5丁目お茶会 ・買い物ツアー (アピタ) ・8.9丁目おやつ作り (かき氷)
8月	・5目かき氷 ・6目かき氷 ・7目かき氷 ・スイカ割り
9月	・6目花火大会 ・5目誕生日者と行く買い物ツアー ・5目おはぎ作り ・8.9丁目敬老会

10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7丁目買い物ツアー（アピタ）</li> <li>・秋祭り</li> <li>・6丁目買い物ツアー（西友楽市）</li> <li>・5丁目たこ焼き作り</li> <li>・8.9丁目焼き芋</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6丁目買い物ツアー（セキチュー）</li> <li>・5丁目干し柿作り</li> <li>・5丁目春に咲く鉢植え</li> <li>・6丁目やきそば、もんじゃ</li> <li>・8.9丁目おでんパーティー</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7丁目ミニどらを作る</li> <li>・5丁目おでん作り</li> <li>・クリスマス会2F</li> <li>・6丁目すいとん作り</li> <li>・クリスマス会1F</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年会</li> <li>・7丁目新年会</li> <li>・5丁目お雑煮作り</li> <li>・6丁目おしるこ作り</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節分</li> <li>・バレンタイン</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さくら餅作り</li> <li>・7丁目スタンプラリー</li> <li>・6丁目おはぎ作り</li> <li>・8.9丁目河川敷お花見</li> </ul>

その他 毎月の誕生日会 月2回の音楽療法

## 短期入所生活介護(ショートステイサービス)

地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。

・受入れ体制の強化

疾患等で受け入れ困難にならないよう、事業者やご家族様から情報収集し、他職種と相談・連携し受け入れ強化した。

※新規利用者 41名(うち長期入所に移行した利用者 4名)

・緊急ショートを受け入れ

利用者・その家族が緊急時の場合は調整を行い、利用して頂く事ができた。

誇りを持てる職場にする。

特別養護老人ホームローズヒルに同じ。

経営基盤の安定化を図る。

・ベッド稼働率(短期のみ) 105%

・重度の方を多く受け入れる、看護体制加算Ⅲ、Ⅳを10月より取得。

- 1 基本方針 「今」を大切に当たり前の暮らしの実現。
- 2 会議、行事等については特別養護老人ホームローズヒルに同じ。

## 茂呂デイサービスセンター

地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。

- ・おやつ作り毎月行い、3日毎にメニューを変えることで利用者のニーズに応えた。
- ・業務分担を見直し、午後の入浴を行うことで、午前中に転倒予防の機能訓練ができた。
- ・地域のミニデイ支援に、茂呂町2丁目が増えた。
- ・普通救命講習会を、7月15日(日)デイサービスフロアで行った。25名参加。
- ・家族交流を兼ねた運動会を10月21日(日)に中庭で行い、昼食の試食会を行った。

職員が専門職として、誇りを持って働ける職場にする。

- ・ケース会議にて、車椅子利用の方の入浴方法の検討や機能訓練基本メニューを考え実施した。ケース会議が、良い結果に結びつく方法の提案・検証の場となってきた。
- ・連絡帳兼ケース記録と通所介護計画書の書式を見直して、記録時間の短縮を図った。

経営基盤の安定化を図る。

- ・月平均500名の目標に対して、505名という結果だった。
- ・新規利用者を、30名にする目標に対し、28名の方に利用いただけた。
- ・早帰り、午後から利用、時間延長など、柔軟な対応ができた。早出対応を行った。
- ・毎日、2～3名のケース会議を行う事で、月2回のケース会議の時間が短くなり、残業が減った。

年間利用者数	H28年度	H29年度	H30年度	前年比
要支援 1.2	545	445	649	145%
要介護 1～5	4175	4977	5396	108%
計	4716	5422	6069	111%

### 1 定例会議

- (1) ミーティング(1日4回)8:25～ 9:45～ 16:00～ 17:25～
- (2) ケース会議・職員会議(月2回)職員会議の参加率は50%から75%に増えた。
- (3) ヒヤリハット:4件 事故報告:13件
- (4) デイサービス運営会議(美茂呂デイと合同・月1回・第3木曜日)  
交流会や、ミニデイ支援、ヒヤリハット、事故報告等、職場で起きている問題等について情報交換ができた。

### 2 行事・研修等

- (1) 今年度は、お花見等の外出行事や、おやつ作りに参加するのが楽しかったという利用者の声が多かった。茂呂デイ通信、月1回発行。
- (2) 施設外研修延べ12名参加。月例研修については、県理学療法士協会の理学療法士派遣事業で、転倒防止のリハビリについて学び、利用者のリハビリに役立てた。月例研修延べ77名参加。ISP研究会延べ4名参加。

### 3 その他

- (1) 実習生受け入れ14名(介護体験4名)・はつらつ社会体験3名。
- (2) 「知ってもらおう介護の仕事」に、職員参加2名。

## 美茂呂デイサービスセンター

地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。

- ・外出や散歩、カラオケ、麻雀・将棋・囲碁、手芸等、利用者個人個人のやりたいことを見出す支援が出来た。囲碁は、今年度はじめて行った。しかし、やりたいことの出来るグループと出来ないグループの差がでてしまったのが課題。
- ・飲み物や入浴剤など利用者に選んでいただくサービスを行った。
- ・地域向けの口腔セミナーを、6月27日(水)に開催した。24名参加。
- ・地域ボランティアの方々の協力が得られた。ポップス尺八の方が新しくきて下さった。延べ227名。(ひまわり会、ゆずの会、スリーナインとの交流会等)
- ・ミニデイ支援新規に茂呂町2丁目が加わった。

職員が専門職として、誇りを持って働ける職場にする。

- ・シフトの見直し、午前または午後の半日勤務を行うことで、有給休暇を取得できるようになった。前年度2日だったが、一人平均8日以上取得できた。
- ・休憩室の片付けが手つかずなので、来年度行っていく。

経営基盤の安定化を図る。

- ・利用者1日平均20名の目標に対し、19.3名。  
短時間利用の方の時間を長くして、単位数を増やす努力をした。
- ・新規利用者17名。
- ・振替え利用を勧め、キャンセルのままにしないようにした。

年間利用者数	H28年度	H29年度	H30年度	前年比
要支援1.2	343	642	558	87%
要介護1~5	5434	5749	5427	94%
計	5777	6391	5985	94%

(ホームページの空き情報見て、本庄や玉村の居宅から問い合わせがあった。  
新規居宅8事業所増加する。)

### 1 定例会議

- (1) ミーティング(1日4回)8:25~ 9:45~ 16:20~ 17:20~
- (2) ケース会議(カンファレンス)・職員会議(月2回) 会議の時間短縮に努めた。
- (3) ヒヤリハット:2件 事故報告:5件
- (4) デイサービス運営会議(茂呂デイと合同・月1回・第3木曜日)  
交流会やミニデイ支援、ヒヤリハットや事故報告等、職場で起きている問題などの情報交換を行った。

### 2 行事研修等

- (1) みもろだよりの発行、月1回。  
おやつ作りでは、フレンチトーストやラスクなど洋風おやつを取り入れ、好評だった。  
来年度も引き続き行っていきたいと考えている。  
利用者が、テラスの菜園で、ジャガイモ・ナス・キュウリなどの栽培・収穫を楽しめた。
- (2) 施設外研修に延べ13名参加。研修に行く職員と行かない職員の偏りがあったので、来年度は改善したい。月例研修延べ73名参加。ISP研究会延べ4名参加。
- (3) 群馬県老人福祉施設協議会のフォトコンテストで佳作に選ばれた。

## ケアハウス菜の花

地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。

- ・5/19、20 オープンガーデン実施し、同時に一人部屋、夫婦部屋を開放し菜の花を知っていただいた。
- ・ケア文化祭には家族参加で交流ができ、北千木文化祭では入居者の作品を出品し地域交流をはかることが出来た。

誇りを持てる職場にする。

- ・職員間の連携を密にし、利用者の対応に当たっている。
- ・空室等の問い合わせには丁寧に対応し、ケアハウスをより知って頂くため施設見学をお願いしている。

経営基盤の安定化を図る。

- ・稼働率 87.8% (年間利用者 158 名) 月平均 13.2 名  
待機者や各部署連携会議で空室案内し、また地域の区長、ボランティア、来所した方々に空室案内チラシを配布した。
- ・入退去の折の原状回復を1業者から2業者に増やし選択できることから、以前より迅速に原状回復が出来るようになった。

### 1 行事、会議等

- ・例年、施設内で行っていたクリスマス会をクリスマス&忘年会に変更し外食にでかけ喜ばれた。

### 2 非常災害対策及び事故防止対策・苦情解決体制

- ・避難訓練参加は 9/26 63.6% (昼想定)、 3/6 75% (夜想定) で多くの人に参加して頂いた。

### 3 職員の各種研修計画 (外部研修・OJT)

- ・施設外研修  
5 月 生活相談員全体会議参加(ケアハウスいずみ見学)  
3 月 ケアハウス和光ハイツ見学

### 4 施設・事業所設備の整備、修繕計画

- ・「ローズヒル・菜の花自然園」がボランティアの参加と草花提供者や職員により整備することが出来た。
- ・庭の草むしりをシルバー人材センターに依頼し実施した。9 月 5.6 日 (各 3 人)

### 5 その他

- ・初めての納涼バーベキューは入居者や家族に好評だった。

# 茂呂ヘルプサービスセンター

地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。

各居宅支援事業所との連携は6事業所を訪問することが出来た。

自立して生活が送れるよう生活全般の援助が出来た。

誇りを持てる職場にする。

ヘルパー会議等でサービス提供に対する信頼を築くことを学んだが、全体の認識が不十分の部分あった。

経営基盤の安定化を図る。

目標 600 時間に対し 517 時間の結果だった。

登録ヘルパーが1名の増となったが目標時間には達しなかった。6事業所を訪問し1件の新規事業所との契約に繋がった。

身体介護での利用時間は、平成 30 年 3 月末は 117.3 時間だったが、平成 31 年 3 月末では 213 時間と 95 時間の増となった。

## 1 利用者状況

### (1) 利用時間

- ・サービス提供時間 月平均 実績＝ 517 時間（目標＝600 時間）
- ・年度別比較

年度	月平均利用時間
平成 28 年	521 時間
平成 29 年	486 時間
平成 30 年	517 時間

### (2) 利用者数

- ・ 合計 54 人(前年度 41人) H31.3. 31 現在

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
5	12	13	15	8	0	1

(人)

### (3) 新規利用

- ・ 14 人 要支援 5 人 要介護 9 人  
(前年度 13 人 要支援 5 人 要介護 8 人)

\*当施設内茂呂居宅介護支援事業所からの新規紹介 2 名となる。

### (4) 時間追加希望

- ・ 7 人 (前年度 3 人)

## 2 職員研修

### (1) 施設内研修

- ・事業計画について 4 月(2 名参加)・食中毒と感染症 10 月 (7 名参加)
- ・生きがいサポートプロジェクト発表(2 名参加)
- ・高齢者虐待について 12 月 (7 名参加)

### (2) 施設外研修

- ・介護サービス事業者に係る説明会集団指導 9 月(1 名参加)

### (3) ヘルパー会議 毎月 12 回開催

## 茂呂居宅介護支援事業所

地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。

- ・ 北千木町、今泉町 1 丁目、茂呂町 2 丁目、新栄町等のミニデイ支援に デイサービス職員と同行した。レクリエーションや体操を一緒に行い、介護サービスの利用説明等を担当する事で、地域高齢者の方々との交流を図った。
- ・ 毎月第 2、4 火曜日「介護特別相談日」の継続開催。現状の在宅介護に関する不安の相談などがあつた。毎月第 2 火曜日はロビーコンサートを同時に行い、定着がみられている。
- ・ 5 月には、「よりみち講座」と称し介護予防に関わるイベントを実施し、年金講座や栄養講座を取り入れ好評を得る事ができた。地域の方や利用者家族を含め約 60 名の参加がみられた。
- ・ 8 月には、「知ってもらおう介護の仕事」で伊勢崎市立第一中学校に訪問。2 年生(約 180 名)を対象に実際に介護を体験してもらい、介護職に関する広報活動を行うことができた。

誇りの持てる職場にする。

- ・ 研修への参加を行い、平成 30 年度介護保険制度改正に関しても、混乱なく業務をすすめて行く事ができていた。それぞれのスキルを上げていく事で、今後も円滑に業務を遂行していける職場作りに努めていきたい。
- ・ 定期的な居宅会議の開催が、各職員の業務都合と勤務都合により行えていない点が反省点となっている。

経営基盤の安定化を図る。

- ・ 伊勢崎市からの要介護認定調査受託件数  
平成 30 年 4 月 ～ 平成 30 年 9 月 在宅 87 件  
平成 30 年 10 月 ～ 平成 31 年 3 月 在宅 88 件 合計 175 件
- ・ 現在担当している利用者本人や家族、包括支援センター、サービス事業所等から新規利用者を得る事ができた。  
(利用者関係紹介:6名、包括支援センター紹介:4名 サービス事業所:2名)
- ・ 特定事業所集中減算に関しては、訪問介護に対する当法人紹介率が高く特定事業所集中減算の解消に至らなかった。

### 1 基本方針および目標を達成するために

利用者が住み慣れた地域で共に生活を続けて行く為の支援をおこなえるよう更なる知識の習得と、相談援助技術の向上を目指し各種研修への参加を行った。

(介護支援専門研修、予防支援従事者研修、医療連携メンテナンス会議等研修参加等)

### 2 サービス提供目標に対する実績

- ・ 要介護 目標 99 件 (ケアマネージャー 1 人に対し、月平均 33 件担当)  
実績 73 件 (ケアマネージャー 1 人に対し、月平均 24 件)
- ・ 要支援 目標 24 件 (ケアマネージャー 1 人に対し、月平均 8 件担当)  
実績 31 件 (ケアマネージャー 1 人に対し、月平均 10 件)

要介護に関しては目標件数までには至らなかったが、要支援に関しては目標を上回る事ができた。



## 厨房部門

### 1 行事

- (1) 行事食(月1回 全12回実施)、
- (2) セレクト食(月1回 全12回実施)
- (3) 郷土料理(月1回 全11回実施、12月はクリスマスメニュー)
- (4) 全国駅弁めぐり(月1回 全12回実施)
- (5) その他
  - ① 各部署の行事計画に沿ったサービスの提供  
(おやつ作り、お誕生日会、秋祭り、介護フェスタ など)
  - ② 毎月1日の昼食はお赤飯提供
  - ③ 月に1回日曜日の昼食は、特養にパンを提供
  - ④ 毎週日曜日の昼食は、ケアハウスにパンを提供
  - ⑤ 毎週日曜日のおやつは、特養に数種類の品を提供

### 2 定例業務

- (1) 給食サービス委員会(月1回、全12回)
- (2) 嗜好調査(11月)
- (3) 市場調査(6月、9月、12月、3月)
- (4) 残食調査(毎食後)、評価・報告(6月、9月、12月、3月)
- (5) 備蓄食品点検(9月)
- (6) 給食施設実施状況報告(12月)

### 3 日常業務

- (1) 栄養ケアマネジメントによる個々の栄養管理  
(入所者の身体状況管理、喫食量の把握、嗜好調査、栄養ケア計画・評価など)
- (2) 栄養帳票・衛生帳票の管理
- (3) 厨房職員への衛生指導(衛生勉強会 全12回等)

### 4 職員研修会

- (1) 安全衛生委員会  
・「食中毒と感染予防」(6月全2回 1名)
- (2) グリーンハウスグループ  
・刺身衛生講習会(8月 3名)  
・食品衛生責任者講習会(3月 2名)  
・栄養士フォローアップ研修会(11月 1名)
- (3) 伊勢崎保健福祉事務所  
・給食関係者研修会(11月 1名)  
・介護医療間の栄養連携推進に向けて(8月 1名)

